



種別 史跡

所在地 湯河原町城堀252番地（城願寺境内）

指定 県指定文化財 昭和30年11月1日

年代 鎌倉時代

城願寺は土肥実平（どいさねひら）を祖とする土肥氏の菩提寺です。土肥の館の持仏堂（じぶつどう）の跡に建てられたといい、宝篋印塔（ほうきょういんとう）、五輪塔など数十基が立ち並ぶ土肥一族の墓所があります。各種形式、各年代にまたがる墓石が並び、関東有数のものとして県の史跡に指定されています。

実平の事績は、石橋山の合戦以来いくつもの合戦に従い、平家討滅の道を開きました。



Name : Doi ichizoku no boshō, "Cemetery of The Doi Family and Relatives"

Historic Remains

Designated Historic Site

Location : 252 Shirohori, Yugawara (C/O of Jyoganji Temple)

Designated as Historic Site on 1st Nov. 1955 by Kanagawa Prefecture

Constructed in Kamakura Era

Jyoganji Temple is The Doi family's temple. It was constructed at the site of Jibutsu-dō which was a hall where private Buddha statues are kept.

Sanehira Doi became famous after winning the battle against the Taira clan (Heike).



種別 天然記念物

所在地 湯河原町福浦字カツラゴ地先海域

登録 県指定文化財 昭和54年2月16日

真鶴半島の南岸、湯河原町福浦のカツラゴ海岸には、サンゴイソギンチャクのいくつかの大きい群集が認められます。分布北限をなしますが、起伏に富んだ安山岩の溶岩の上に発達した群集の様相はすこぶる特異です。

体色は緑色から褐色、触手は大人の指ぐらいの太さで、先端が紅色を呈し、波にゆられている景観は素晴らしい。クマノミと呼ばれる美しい魚が共生するのが常です。

この群集は、町内在住の渡部孟氏により発見されました。



Name : Sangoisoginchaku, "Coral Sea Anemone"
Designated Natural Monument Protected Species
Location : Fukuura Fishing Port (surrounding Katsurago beach), Yugawara
Designated as Natural Monument Protected Species on 16th Feb. 1979 by Kanagawa Prefecture.

Katsurago Beach is located on the South Coast of Manazuru Peninsula on the Northern habitable boundary. There are gregarious coral sea anemone. Color is green to brown and tip is crimson. It is a beautiful scene when they are tossed by the waves.



種別 建造物
員数 1棟
所在地 湯河原町宮下359番地の2 (五所神社)
指定 県指定文化財 平成7年2月14日
規模 三間社流造 桁行 4m87cm 梁間 4m86cm
年代 室町時代後期

神奈川県内にある多くの社寺建造物は江戸時代以降に建てられたものが大部分を占めています。その中で五所神社本殿は室町時代後期の建立であろうと考えられます。

本殿は三間社流造で屋根は、もとは柿葺(こけらぶき)でした。昭和57年再建の入母屋造拜殿(はいでん)後部の幣殿(へいでん)と接続していますが、もとは独立した本殿でした。

※This door is in invisible place.



元和7年(1621年)10月24日と寛永13年(1636年)9月26日等数枚の棟札があります。

Name : Goshō Jinja Honden, "The Main Shrine of Goshō Shrine"
Designated Cultural Property (one building)
Location : 359-2 Miyashita, Yugawara
Designated as Cultural Property on 14th Feb. 1995 by Kanagawa Prefecture
Building Style: Sangensha-Nagare
Ketayuki (length of beam) 4m87cm
Harima (length of crossbeam) 4m86cm
Constructed during late Muromachi Era

Although most shrines in Kanagawa prefecture were constructed after Edo period (1603-1868), Goshō Shrine was assumed to be constructed in the late Muromachi period (before 1573). Mune-Fuda, which are foundation boards were found in 1621 and 1636.



種別 絵画

員数 84枚

所在地 湯河原町福浦129番地(子之神社)

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

形状 着色花鳥獣魚図、格天井 材質 木材(杉)

規模 板絵1枚 縦55cm×横55cm

天井 間口7m20cm、奥行4m50cm

年代 天保年間(1830~1844年)

八十島文雅(やしまぶんが)他作

この板絵は、狩野派と文人派を折衷した格調高いもので、中国や朝鮮に流行した陰陽五行説(いんようごぎょうせつ)や本草学(ほんそうがく)などの知識が盛り込まれ、江戸文化史の一断面を知る貴重な資料です。



板絵に描かれている花鳥獣魚の大半は文雅の筆によるものです。魚貝類など郷土特有の海産物の絵も見られ、郷土資料としても得難いものです。

なお、作者の八十島文雅は天保時代の女性絵師で、その画風や雅号から察して谷文晁(たにぶんちよう)と師弟関係にあったと考えられます。当時江戸の魚商人と密接な関係にあった福浦村の求めにより、はるばると当村に至り、名主であった露木浦右衛門(つゆきうらえもん)宅に長期滞在し、村民の協力を得ながら、この板絵を完成させたものと考えられます。

Name : Neno Jinja no goutenjyo itae "Panel Paintings of coffered ceiling in Neno Shrine"

Designated Cultural Property (84 sheets of Paintings)

Location : 129 Fukuura, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Type of Paintings : Variety of colored flowers, birds, animals, fish on Japanese Cedar sheet 55cmx55cm each.

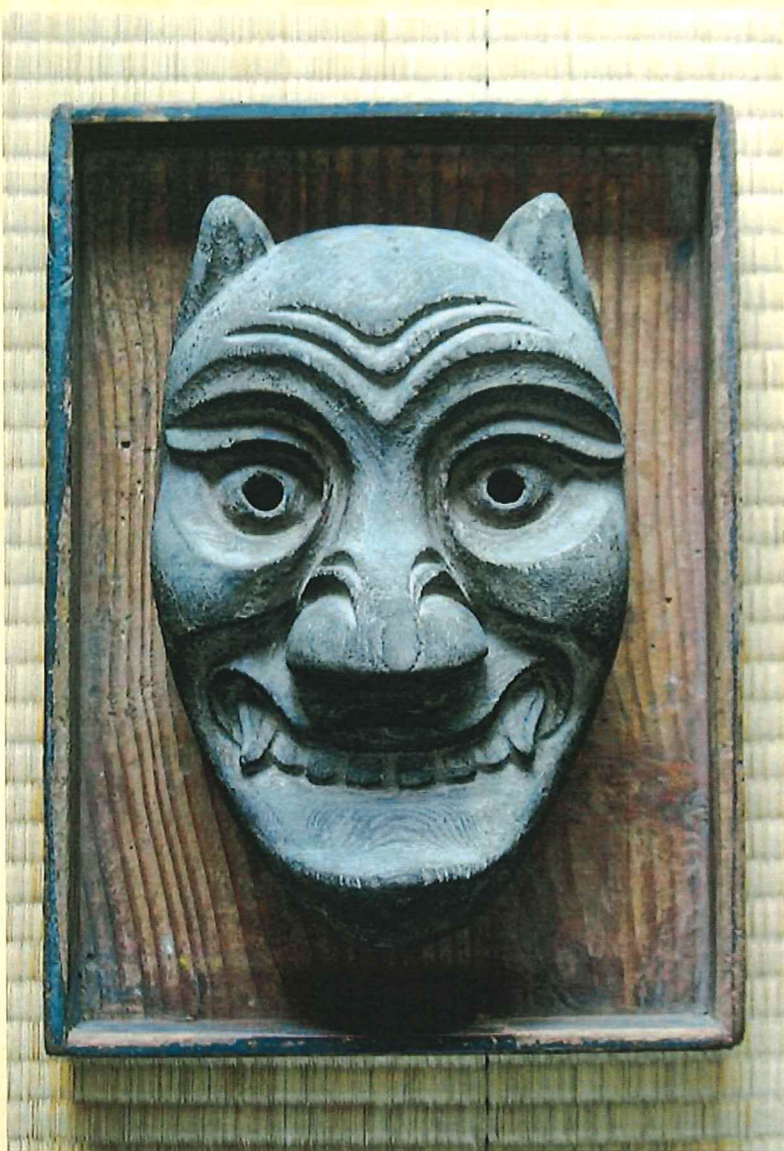
Dimension of ceiling : 7.2m x 4.5m

Paintings were drawn during 1830-1844 by the lady artist Bunga Yasojima.

These paintings are valuable to know and understand about Edo cultural history. Art style is half-Kano style & half-Bunjin style with noble atmosphere.

Some paintings reflect Medical herbs study, the theory of Yin-Yang and the Five Elements.

Bunga was a famous female painter in Edo. Most sheets were painted by her. However other local villagers assisted her.



種別 彫刻等

員数 1面

所在地 湯河原町宮下

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

年代 不詳

農耕の生活には自然の雨水が貴重な資源であったので、古くからこのような面を使って、降雨を祈る行事が行われました。

雨乞(あまごい)は、深夜にこの面を奉持し、三町(約330m)ほど離れた千歳川の川岸に降ります。もとは、そこに水分(みくまり)の神(流水の分配を司る神)の祠(ほら)がありました。川に入って面を川水に浸し、不動堂に帰ると必ず降雨があったと伝えられています。修験者がこの堂に住んで加持祈祷をしていましたが、雨乞の行事もその一つでした。

この雨乞の面が不動堂に保存された年代は不明ですが、江戸期からの農耕における農民の切実な信仰を物語っています。

面は上顎に牙、頭の上に角があるので、鬼面を原型としていますが、表情に雨蛙の印象を取り入れたのが特徴で、雨蛙を雨神(あまがみ)とする民俗信仰の現われとして貴重なものです。

Name : Fudo-dō no amagoi no men "Mask for Rain-Making Rituals of Fudo-Dō (Hall)"

sculpture

Designated Cultural Property (one mask)

Location : Miyashita, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Production period : Unknown

Rain fall is very important for agricultural society. This mask has expression based on demons. It has fangs on the upper jaw and horns on the head.

It also has characteristics of a frog in its facial expression.



種別 彫刻等

員数 2 軀

所在地 湯河原町城堀252番地（城願寺）

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

年代 鎌倉時代末期から室町時代初期（推定）

土肥実平は、城願寺を建立したこの地の豪族で、弥太郎遠平（やたらうとおひら）は実平（さねひら）の長男です。この二つの像は寺宝で、城願寺に由緒の深い歴史上の人物の彫刻として、貴重なものです。

実平の像は、衣冠束帯（いこんそくたい）（平安時代中期以後、宮中に出るときに着た服）、冠は前折烏帽子（まえおりえぼし）、扇を持ち刀を腰につけています。遠平の像は、僧衣で笏（しゃく）を持ち、首は入首



（いりくび）式ですが、現在は漆で固定してあります。

製作年代は不明ですが、ほぼ鎌倉末期から室町初期にかけてのものと推定されています。土肥氏の子孫である小早川氏によって製作され、のちに城願寺に安置されたと伝えられています。

Name : Doi Sanehira oyobi Tohira zō, "Seated figure of Sanehira Doi and Tohira Doi"

sculpture

Designated Cultural Property (two sculptures)

Location : 252 Shirohori, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Production period : Late Kamakura to early Muromachi Period by Kobayakawa related to Sanehira Doi.

Sanehira Doi was from a very powerful family in this area who had built Jyoganji Temple.

Tohira was his eldest son.



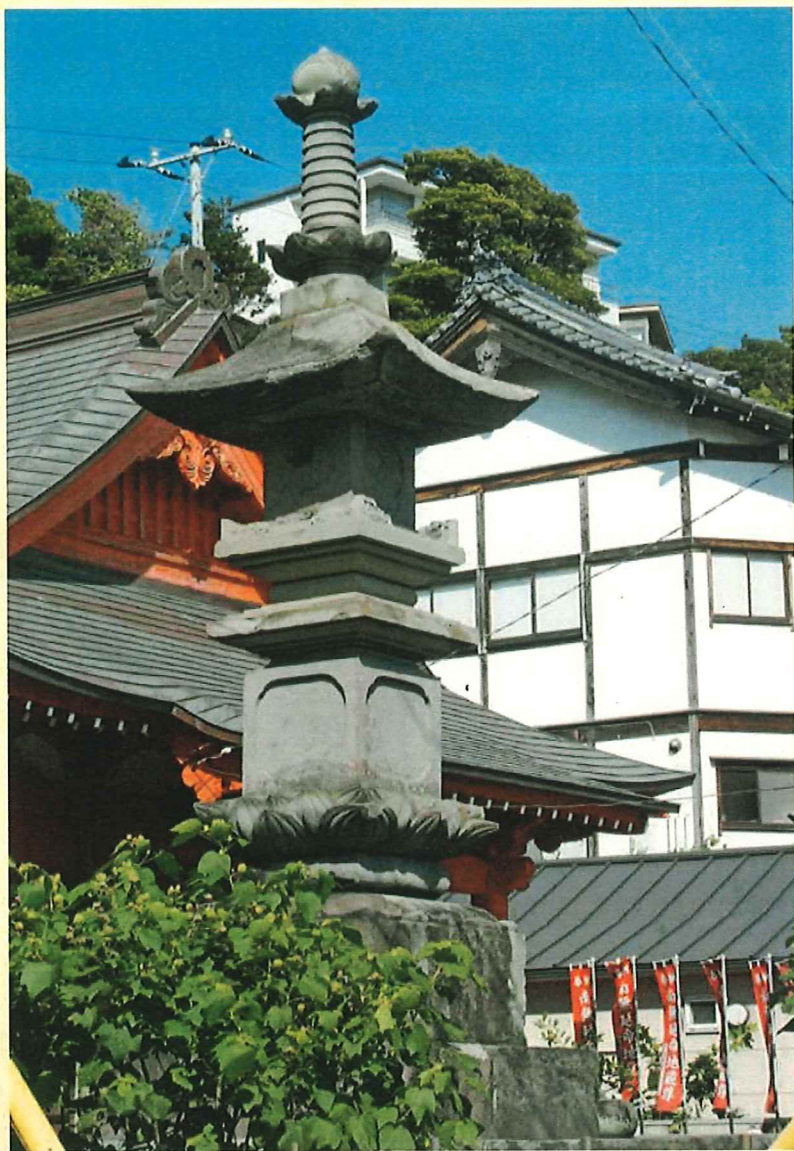
種別 石造物
員数 1基
所在地 湯河原町福浦117番地(醍醐院)
指 定 町指定文化財 昭和54年4月1日
年 代 明和8年(1771年)



江戸時代の宝篋印塔は大形のものが多く、主に供養塔としてお寺の境内に建てられました。醍醐院のものもそうした石塔の一つで、現熱海市泉にある保善院の住職の協力を得て、当時の福浦村の高橋という人が建設したものです。石は地元の小松石を使用しています。塔身には彫刻が施され、この地方に優秀な石工がいたこともわかります。波の図形なども使われていて、漁村らしい雰囲気を漂わせています。

Name : Daigojin no Hokyoin-tō, "Hokyoin-tō (Stone Pagoda) of Daigojin Temple"
Designated Cultural Property (stone sculpture)
Location : 117 Fukuura, Yugawara
Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town
Built in 1771

Stone Pagodas in the Edo period were mostly a memorial tower of the temple.
This is made out of local Komatsu stone. It is decorated with a wave design and it represents fisherman village.



種別 石造物

員数 1基

所在地 湯河原町吉浜1番地(小道地蔵堂)

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

年代 文政11年(1828年)

小道地蔵堂は星ヶ山中腹にあったものを、江戸時代に現在の場所に移築したものです。

この宝篋印塔(ほうきょういんとう)の材料となっている小松石は、硬く、耐久性、耐火性に優れ、磨くと独特の光沢を發します。江戸時代に江戸城の修理などで大量に使われたことから有名になり、建築用材として人気が高まりました。一部表面が傷んでいる部分もありますが、全体的によく保存されています。この石塔にはこの地蔵堂の由来などが書かれています。当時の石塔としてもかなり大形のもので、吉浜村が石材業にかかわっていたことを示しています。

Name : Komichijizo-dō no Hokyoin-tō, "Hokyoin-tō (Stone pagoda) of Komichijizo-dō"

Designated Cultural Property (stone sculpture)

Location : 1 Yoshihama, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Built in 1828

This stone pagoda is made out of local Komatsu stone. It is a large stone for this time period. Which means this area (Yoshihama) was famous for stone business.



種別 史跡

員数 61 軀

所在地 湯河原町鍛冶屋953番地

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

年代 江戸時代

これらの石仏は、江戸時代にこの地域の人達が近親の死者への供養として、長期にわたり継続して奉納してきたものであり、この場所は昔、源頼朝が隠れたと伝えられる「巖窟」(しどどのいわや)の中や、その近くに置かれています。

この窟(いわや)は古くから山岳宗教の修行の場所で、聖地として崇(あが)められてきた宗教的な歴史を知るうえで貴重です。



Name : Doi Sugiyama Gankutsu nai Kannonzō gun, "Group of Statue of Kannon in Doi Sugiyama Cave"

Historic site

Designated Historic Site & Monument (61 statues)

Location : 953 Kajiya, Yugawara

Designated as Historic Site and Monument on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Built in Edo Period

Kannon "Sanskrit" is one of the principal bodhisattvas of Mahayana Buddhism in east Asia. These Kannon Statue had been dedicated to close relatives' souls by local people in Edo period, which extended over a long period of time.

These are placed inside of Shitodo Cave and around it.

Shitodo is a sacred mountain for worshippers.

It is also known as the place where Yoritomo hid.



種別 史跡

員数 1本

所在地 湯河原町宮下355番地の2 (五所神社)

指定 町指定文化財 昭和54年4月1日

規模 根回り15m60cm 樹高17m50cm

樹齢800年以上 (推定)



強されていますが、その中に庚申像(こうしんぞう)が安置されています。

五所神社は、古くは五所明神社または五所大明神と称し、その参道は明神の楠のそばを経て、千歳川まで続いていました。参道は、正保(しょうほ)3年(1646年)当時入谷村といわれたこの地方の宮上と宮下を分ける分境線でもありました。神社を参拝するときには千歳川で禊(みそぎ)を行ったものです。参道には楠が数多く生い茂っていましたが、現在は県道わきにある「明神の楠」と境内に数本残すのみです。この楠は古木のため幹の中が一部朽ちてコンクリートで補

Name : *Myojin no Kusunoki*, "Camphor Tree in Myojin God"

Designate Historic Site (one tree)

Location ; 355-2 Miyakami, Yugawara

Designated as Natural Monument Protected Species on 1st Apr. 1979 by Yugawara Town

Dimension : 15m60cm diameter around roots, 17m50cm high
800 years old

This memorial tree was used as a landmark to locate the Gosho shrine from Chitose river.

People who are going to pray at Gosho Shrine did *misogi*, purify their body in the water, in Chitose river. Unfortunately, only few trees are remaining now. You can see the statue of Koshin God inside of this tree.